

日本体育大学医療専門学校整復健康学科では以下の研究を実施しています。

この研究について詳細に知りたい方は「問い合わせ先」までお問い合わせください。また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の情報を「この研究課題に 利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしい」と思われた方は、情報の使用を拒否することができますので、「問い合わせ先」に連絡してください。

研究の名称	高等学校の成績および入試種別と入学後の学習成果との関連性について 研究倫理委員会許可番号：023-01号
研究責任者	整復健康学科 吉田 裕輝
研究期間	2023年5月1日～2024年3月31日
研究の目的・概要	公益社団法人全国柔道整復学校協会（2022）が行ったアンケート調査結果から、全国的に柔道整復師養成学校の入学試験倍率は低下していることが明らかとなりました。そのため、基礎学力が低い受験生であっても入学しやすい状況が生じていることが考えられます。これは近年柔道整復師国家試験の合格率が低下していることとも関連があると考えています。柔道整復師養成施設として入学者選抜が適切であったか、また、入学後の教育が教育理念や目標を達成するのに適切であったかは、国家資格を取得して医療人としての仕事を評価しなければ判断できないと考えます。しかし、入学してきた学生が期待通り柔道整復師になるための学習に取り組める基礎学力があるか否かを、高校の評定平均値や入学試験の成績、入学後の試験との関係性から分析することは、教育方法改善の参考になると考えました。そこで、今回下記の情報を用いて分析することで、今後の学校の発展および教育の質改善を図るための材料とすることを目的として実施します。
利用または他機関に提供する情報	2014年から2023年の10年間における日本体育大学医療専門学校、整復健康学科（柔道整復科）の昼間部に入学者された方のうち、1年生の前期中間試験を受験された方の以下の情報を利用します。 高校の評定平均値、性別、最終学歴（高卒および大卒）、入学試験受験時期、入学試験区分（A0, 一般, 推薦）、入学試験成績、中間試験の平均点
情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	得られた情報から高校時代の評定平均値と入学試験成績および中間試験点数との関連性を分析します。またこれらの関連性は、評定平均値別、性別、最終学歴別、入学試験受験時期別、入学試験区分別に分けたときに関連性や傾向が見出せるのかを分析していきます。得られたデータはすべて匿名加工情報とすることで個人を特定できない形として保存します。そして、データ分析に用いる専用のコンピュータを用い、パスワード保護を行い、厳重に保管します。 得られた成果は、個人情報保護に配慮した上で学会や論文に発表されます。 当該研究で得られたデータは他施設への提供はありません。
情報を利用する者の範囲	研究責任者 日本体育大学医療専門学校 整復健康学科長 吉田 裕輝 研究担当者 日本体育大学医療専門学校 整復健康学科主任 園部 英貴
問い合わせ先	日本体育大学医療専門学校 整復健康学科 吉田 裕輝 電話：03-5717-6161